



「教える授業」から「学ぶ授業」へ

各公立小中学校では、校内で研究主題を設定して授業にあたっています。今年度、潮見小学校では『教える授業』から『学ぶ授業』への授業改善 ～家庭学習とつながる授業づくりを目指して～』という研究主題の下、日々の授業改善に努めています。

6月10日（火）に、6年3組において算数科の研究授業を行いました。単元名は「分数÷分数」です。この授業では、帯分数や整数を含むわり算の計算は、どのようにすればよいかを考えた上で、その計算が正確にできるようになることを目指していました。

これまでの分数のわり算の仕方から、帯分数や整数を仮分数に直して、わる数を逆数にしてかけ算をして計算するということが分かりました。約分があるときには気を付けるということも子どもたちから挙がっていました。帯分数や整数を含むわり算の仕方を理解した上で、計算練習に取り組みました。計算練習をする際には、問題の難易度を選択したり、タブレットドリルや算数の学習帳を選んだりすることができるようにしました。自分の力やペースで進められるような学習を取り入れました。自分の学習計画や課題を設定して進めていく「自由進度学習」を意識した授業を行いました。

子どもたちの振り返りを見てみると、今回の学習で計算の仕方を理解したことがよく分かりました。自分たちで計算の仕方を考え、それを使って習熟を図るという流れが1時間の中でできていました。

今年度の校内での研究は始まったばかりです。まだまだ「教える授業」が中心です。子どもたち自身が進んで「学ぶ」ことができるように、授業の準備をしたり環境整備をしたりしながら、よりよい授業を模索していきたいと思えます。また、「家庭学習とつながる授業づくり」をすることで学力向上も進めていこうと考えています。子どもたちがどのような家庭学習に取り組んでいるのかを、保護者の皆様もご確認いただき、今何を学習しているのか子どもたちから聞いていただけるとありがたいです。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

小中学校との連携について

潮見小学校では、鴨川中学校、久枝小学校と連携した取組を行っています。6月6日（金）に5、6年生が3校ミニ子ども会議をオンラインで行いました。3校で共通して行っているのは「防災」。各校の防災の取組について子どもたちが情報交換をしました。近隣校で継続して連携をしている例は比較的少なく、その分、子どもたちは貴重な経験をしていると言えます。子どもたちの思いを大事に、地域と協力しながらよりよい小中の連携に努めていきたいと思えます。

